

# 11月15日は 滋賀県産業安全の日 労働災害防止緊急要請

滋賀労働局では、11月15日を「滋賀県産業安全の日」と定め、滋賀県民の労働災害防止についての意識づけを図るとともに、事業場における労働災害防止活動を推進しています。

滋賀県内における労働災害による死者数は、長期的には減少傾向にあり、2015年は8人と初めて10人未満となりました。しかし、2016年は一転して増加傾向に転じ9月16日現在で11人と前年同期の6人に比べ、倍増に近い状況にあり、特に製造業における死者数が5人に上り、そのうち機械への「はさまれ・巻き込まれ」によるものが2人となっています。

こうした事態を踏まえ、滋賀労働局では「死亡労働災害異常事態」を宣言しました。

連合滋賀からも死亡労働災害をこれ以上発生させないという強い決意のもと、連合滋賀加盟組織の皆さまにおいても、各事業場に対する安全衛生管理体制等の見直しや、滋賀労働局が定めた「滋賀県産業安全の日無災害運動」の展開など、死亡災害撲滅に向けた緊急的な啓発活動に取り組むことをお願いいたします！



安全に働ける  
職場づくりを目指そう!

**無災害運動期間**  
**11月1日～11月30日**  
準備期間 11月 1日～11月14日  
改善期間 11月16日～11月30日

無災害運動期間に実施してほしい事項

- ・「滋賀県産業安全の日」の横断幕や看板等の掲示
- ・労働災害を発生させない職場づくりのため、各業種の特性に応じたリスクアセスメントの実施等の自主的な安全衛生活動

準備期間に実施してほしい事項

- ・「滋賀県産業安全の日」に関する行事の準備
- ・安全基準や作業手順の総点検
- ・リスクアセスメントの実施

「滋賀県産業安全の日」に実施してほしい事項

- ・経営トップによる安全衛生に対する意識を高める意思表明
- ・経営トップによる安全衛生パトロールの実施
- ・安全衛生に対する取り組みについての労働者の家族に対する周知

改善期間に実施してほしい事項

- ・リスクアセスメントの実施結果に基づく改善計画の策定及びその実施
- ・安全基準や作業手順の周知及び遵守状況の確認

## 連合滋賀推薦決定

湖南省長選挙



たに はた えい ご

**谷畑 英吾**

投票日:10月16日

野洲市長選挙



やま なか よし あき

**山仲 善彰**

投票日:10月23日



# 連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2016年10月6日

連合滋賀 第270号

大津市松本2丁目10-6

電話077-523-0500

発行・山田 清

編集・竹内 真也

(定価 1部6円)

印刷 ヌメディア株式会社

## 滋賀県 最低賃金

時給額 **788**円 **24円 UP**  
平成28年10月6日から

2016年度の滋賀県最低賃金について審議する滋賀地方最低賃金審議会が8月10日に開催され、現行764円にプラス24円とする788円で結審しました。

低所得層の増加による社会の不安定化と劣化に歯止めをかけるため、「すべての働く者の処遇改善を底支える賃金のセーフティーネット機能である最低賃金を引き上げよう。」との強い思いで審議に臨みました。

特に雇用戦略対話における政労使合意でもある「早期に全国最低800円を確保し景気状況に配慮しつつ、全国平均1,000円」という目標には程遠いことを背景に、「中賃の目安を尊重する立場で、全国の経済状況からみても滋賀は他の地域より経済状況等が良い傾向にある。こういったことから、目安+αがあつて当然である。」との主張を行い粘り強く交渉を行いました。

使用者側は、「統計データや指標に基づかない無理な引上げは経営そのものを圧迫し、延いては雇用に悪影響を及ぼしかねない。中賃の目安は政府方針に配慮し

た水準であつて、使用者側としては受け入れがたい。」と主張してきました。

公益側は、「中賃の目安が高い中で使側の抵抗が強いこと、また、労側として、最賃の水準そのものを引上げていくとの考え方やBランクでの滋賀の置かれている立場に不満があることも理解した上で、公益として24円としたい。」という見解を示し、労使双方一部反対の賛成多数で結審に至りました。

連合滋賀では、労働組合の普遍的な活動の重要性を改めて認識し、これまでの積み上げてきた地道な活動をさらに発展させつつ、最低賃金の取り組みとの連動を強めながら、最低賃金運動の強化のため全組織が不退転の決意で取り組みを強化していきます。

## 「政策・制度要求と提言」を滋賀県に提出 「働くことを軸とする安心社会」に向けて政策実現に全力で取り組む

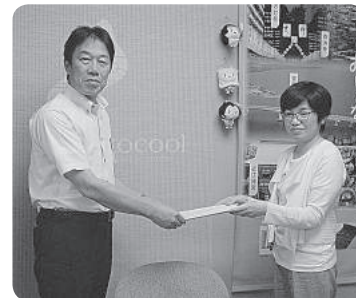
2017年に向けた連合滋賀「政策・制度要求と提言」を8月29日(月)に滋賀県に提出しました。

連合滋賀は働く仲間や県民の暮らしを守るため、「働くことを軸とする安心社会」の実現を求めて、各構成組織や地域協議会、労福協等の要求や意見を集約し、滋賀県をはじめ各自治体に対する「政策・制度要求と提言」の取り組みを行っています。

今回、連合滋賀から滋賀県に提出した内容は、雇用の安定と地域経済の活性化などの労働政策や、福祉・環境・教育など11課題48項目におよぶ広範囲なものとなっています。

提出にあたって福永忠克商工観光労働部長に「要求と提言」の概要および連合滋賀の考え方や重点施策を説明しました。

10月17日～20日の4日間にわたって開催する滋賀県の9部局との協議では、より中身の議論とするために各部局での重点項目を設定し、連合滋賀の政策委員・執行委員を中心に活発な意見交換を行います。



「要求と提言」を福永商工観光労働部長に提出する連合滋賀政策委員会小石委員長



## 事業譲渡等指針の活用に向けて 連合滋賀役員研修会

連合滋賀役員の強化ならびに知識の習熟を狙い、9月23日（金）に琵琶湖ホテルにおいて、2016年度の連合滋賀役員研修会を開催しました。

研修会では「企業組織再編と労働組合の対応」と題して、自治労法律事務所の岡田俊宏弁護士をお招きし、ご講演いただきました。今回の題目を設定した背景として、9月1日より事業譲渡等における指針および改正承継法施行規則・改正承継法指針が施行されたことが挙げられます。これは、2000年の労働契約承継法の制定から15年余りが経過し、会社法の整備は進んでいるにもかかわらず、会社分割以外の事業再編に対応した労働者保護ルールの整備が進んでいなかったため、厚生労働省内の「組織の変動に伴う労働関係に関する研究会」が、主に会社分割と事業譲渡に焦点とした報告書を取りまとめ、これに基づいて、連合が委員として参画した厚生労働省「対応



自治労法律事務所  
岡田俊宏弁護士

## 連合滋賀中小労組連絡会議 視察・交流研修会

連合滋賀中小労組連絡会議は、中小労組の活動強化を図ることを目的に、テーマを生産・技術・安全衛生等として毎年「視察・交流研修会」を行っています。今年は、8月28日から29日の一泊で、「伝統」と「最新技術」を学ぶべく、山口県を訪問しました。一日目は、萩市にある明治日本の産業革命遺産群を見学した後、連合山口中小労働委員会と互いの活動報告と課題点等を共有し、よりよい運動に結びつけるべく意見交換を行いました。

二日目には、下松市にある日立製作所笠戸事業所へ訪問し、日立製作所労働組合笠戸支部の西田執行委員長に歓迎のご挨拶いただいた後に、工場の概要説明および新幹線の車両製造過程を見学させていただきました。笠戸事業所では軽量アルミ素材を採用した鉄道・新幹線車両の開発・製造がされており、新幹線をはじめとした馴染みのある車輛から普段は見ることができない海外向けの高速車両にいたるまで様々な車輛がところ狭しと並んでいました。

こうした最新技術と管理徹底された現場の見学、また、他の地方連合会との交流で得た知識とネットワークを今後の中小労組活動にしっかりと活かし、活動を強化していきたいと思えます。



岡田弁護士の講演を聞く参加者たち（場所：琵琶湖ホテル）  
方策検討会」において、指針を作成したという経緯があります。

岡田弁護士から組織の変動に伴う労働関係に関する対応について、承継法の概要を交えながら、会社分割時の労働者保護手続きの変更点や事業譲渡・合併時の労働者保護手続きに関する指針などを厚生労働省が発行した資料等を用いながら詳しく説明していただきました。

連合は、事業譲渡に限らず円滑な事業再編を行うには、労働組合との間の集团的手続きなどを行うことが不可欠であるとの認識に立ち、これらの指針の周知と活用を広く呼びかけていきます。



日立製作所労働組合笠戸支部の西田執行委員長より  
工場の概要などを聞く参加者  
（場所：日立製作所笠戸支部）

ホームページ・フェイスブックで日々、最新情報を更新しています！ぜひご覧ください！！



連合滋賀

検索

連合滋賀ホームページ

<http://shiga.jtuc-rengo.jp>



連合滋賀 facebook ページ

いいね！  
を押して登録！



## 若手組合員の活性化を！ 2016 連合滋賀ユースフォーラム

青年層の組合間を超えたネットワークづくり・活性化を目的とした「2016 連合滋賀ユースフォーラム」を9月3日から一泊二日で、高島市の白浜荘にて開催し、10 組織4 地域協議会の若手組合員 46 名に参加いただきました。

1 日目は連合滋賀青年委員会矢部隼人委員長の挨拶の後、「交流」を重視し、まず、初めて顔を合わせる班の仲間全員の共通点を探し自己紹介を行いながら、それを参考に班のシンボルとして、「政党」の旗をつくりました。

旗づくりでお互いの事を知った後、「みんなで交流を深めよう！食料争奪ミニゲーム大会」と題し、夕食の食材をかけてクイズやジェスチャー伝言ゲームなど様々なレクリエーションを行い、夕食懇親会では班内はもちろん、参加者全員が交流を深めることができました。

2 日目は組合活動では欠かせない「対話力」を養うことなどを狙いに「連合滋賀青年委員会第1 回プレゼン選挙大会」と題し、班で与えられたテーマについて自分たちの班の方針をまとめ演説を行い、どの班の演説がよかったか



ユースフォーラムに参加し、交流を深める参加者（場所：白浜荘）

## 淡海リーダーセミナー 第3 講座

9月24日土曜日、ライズヴィル都賀山において、淡海リーダーセミナー第3 講座を開催しました。

連合本部から南部美智代副事務局長にお越しいただき「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けてをテーマに、ワークショップも含めた講義をしていただきました。

講義では、連合の結成から現在までの考え方の経緯、日本の人口減少、それに伴う問題点（生産性人口、働く女性、非正規、男女間賃金、長時間労働、介護、保育、高齢者、等々）に関して多岐にわたる説明を受けました。

ワークショップでは、自己紹介でちょっと和んだ後、「今の社会でおいしいと思うこと」「なぜ、そう思うのか？」、それぞれがグループ内で発表し、その解決方法を考えました。最後には、「社会のおいしい部分をひっくり返そう！」の意味を込めて段ボール箱をちゃぶ台に見立てて、一人ひとりが発表しながらひっくり返すというユニークな試みを行いました。

皆それぞれの立場で、日頃思っていることや今後こうしていきたいという強い想いを発表してもらい、今回も有意義なセミナーとなりました。



ワークショップを行う受講生  
（場所：ライズヴィル都賀山）

## アジア・アフリカ支援米を収穫！

アジア・アフリカ支援米滋賀県実行委員会（「連合滋賀」と「食とみどり・水を守る滋賀県民会議」で構成）では毎年、減反田を利用して飢餓に苦しむアフリカの人々へ、お米を送る運動をしています。

9月10日（土）残暑厳しい暑さの中、5月に植えたお米の稲刈り作業を多くのボランティアの参加のもと行い無事、収穫をしました！

今後は1 月にお米を送る発送式を予定しております。

